

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成19年2月8日(2007.2.8)

【公開番号】特開2006-61442(P2006-61442A)

【公開日】平成18年3月9日(2006.3.9)

【年通号数】公開・登録公報2006-010

【出願番号】特願2004-247941(P2004-247941)

【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 5 1 6 E

A 6 3 F 5/04 5 1 6 F

【手続補正書】

【提出日】平成18年12月19日(2006.12.19)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

複数の図柄を停止表示する図柄表示手段と、

遊技者による操作に基づいて、単位遊技の開始を指令する信号を出力する遊技開始指令手段と、

前記遊技開始指令手段により出力された信号に基づいて、前記図柄表示手段により停止表示される図柄の変動を行う図柄変動手段と、

前記遊技開始指令手段により出力された信号に基づいて、当選役を決定する当選役決定手段と、

遊技者による操作に基づいて、前記図柄変動手段により行われる図柄の変動の停止を指令する信号を出力する変動停止指令手段と、

前記当選役決定手段により決定された当選役と前記変動停止指令手段により出力された信号とに基づいて、前記図柄変動手段により行われる図柄の変動を停止制御する停止制御手段と、

前記停止制御手段により前記図柄表示手段に特定の表示態様が停止表示された場合に、遊技者に有利な有利状態を発生させる有利状態発生手段と、

前記停止制御手段が前記特定の表示態様を停止表示させることができ可能な確率が第1の確率である第1確率状態を継続する単位遊技の回数を決定するための決定情報として、決定される単位遊技の回数の期待値が第1の値である第1決定情報と、決定される単位遊技の回数の期待値が第1の値よりも小さい第2の値である第2決定情報とを格納する第1情報格納手段と、

前記第1確率状態において、前記停止制御手段が前記特定の表示態様を停止表示させることができ可能な確率が前記第1の確率よりも高い第2の確率である第2確率状態への移行を決定する確率状態移行決定手段と、

前記確率状態移行決定手段が前記第2確率状態への移行を決定したことを契機として、前記第1確率状態から前記第2確率状態へ移行させる確率状態移行手段と、

前記第1決定情報に基づいて継続する単位遊技の回数が決定された第1確率状態において、前記確率状態移行決定手段が前記第2確率状態への移行を決定した場合に、前記第1確率状態が継続する単位遊技の回数の決定のために前記第2決定情報を続けて用いる回数

の上限を決定する連続回数上限決定手段と、

前記第2決定情報を続けて用いる上限の回数に対応して設けられた第3決定情報であり、前記連続回数上限決定手段が決定した回数分前記第2決定情報を続けて用いる前の所定の時機に、前記第1確率状態が継続する単位遊技の回数の決定のために前記第1決定情報を用いるか否かを決定するための第3決定情報を格納する第2情報格納手段と、を備えたことを特徴とする遊技機。